

本号では、北部地域活性化委員会に関する活動報告やスマートインターチェンジの情報や進捗状況等をお知らせします。

◇ 第2回「北部地域ワークショップ」を開催しました！ (令和5年1月24日火曜日)

- 当日は、25名の方が参加されました。
- 石巻中学校の生徒が考えた「地元の将来像」について、参加者の皆さんで授業の様子を見ました。
- ワークショップでは、スマートICをきっかけとした地域活性化のために必要な取り組み（施設など）を考え、各グループで話し合い、まとめた意見を発表しました。

○ 当日の様子



加藤委員長が挨拶をしました。



前回のワークショップの振り返り中です。



中学生の『要望書』の発表の授業の様子を見ました。



個人ワークでは、地域活性化のために、スマートIC周辺に必要な取り組みを考えました。



グループワークでは、個人ワークで出た意見を各グループ内で共有し、まとめました。



各グループの代表者が、グループワークでまとめた意見を発表しました。

◆ 石巻中学校の生徒が北部地域活性化委員会に提出した『要望書』

スマートICが整備されることをきっかけに、石巻中学校の生徒が地元の活性化について考えました。「地元の将来像」を描いた『要望書』の内容と具体的な案は次のとおりでした。

内部（地域住民）と外部（交流人口）の両方を満足させるような活性化案

➢ 道の駅の建設

- 柿の販売場所の確保
- 地域の生活の拠点となる施設

➢ 観光化

- キャンプ場、グランピング施設
- 古墳を活かした公園

➢ クラインガルテンの実施

- 空き地、空き家の活用
- 柿畑の維持

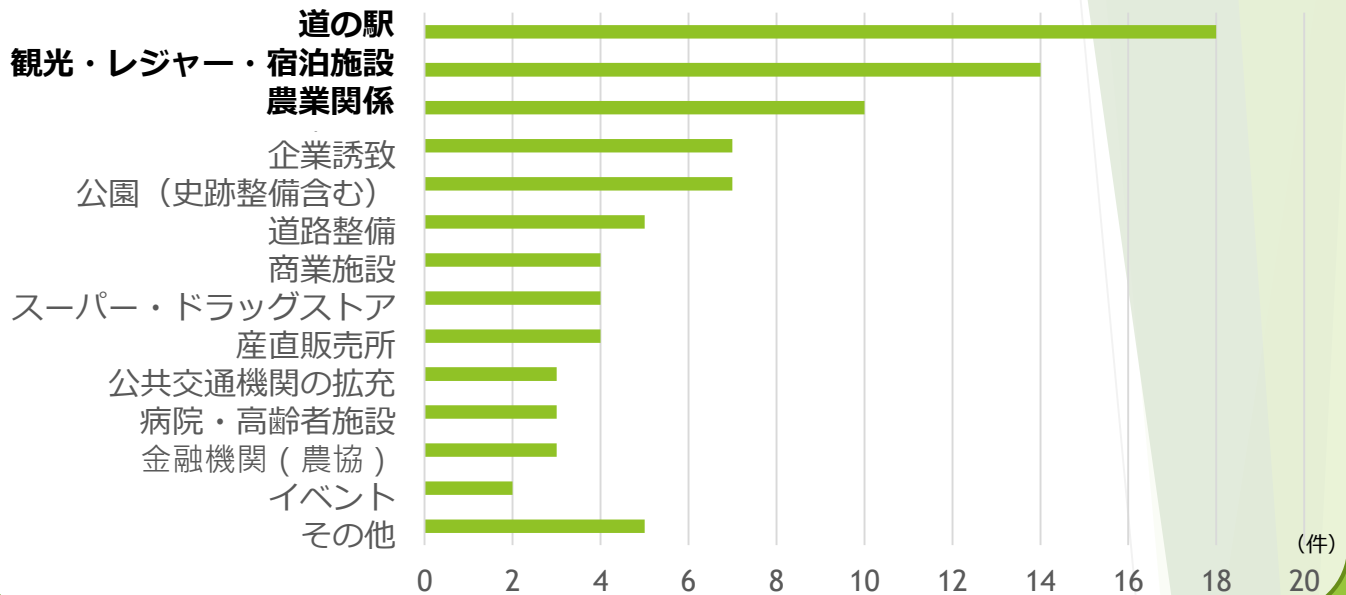
➢ 公共交通機関の拡充

- バスを利用する人、目的地を増やす

◇第2回ワークショップに参加された皆さんが考えた意見を集計しました！

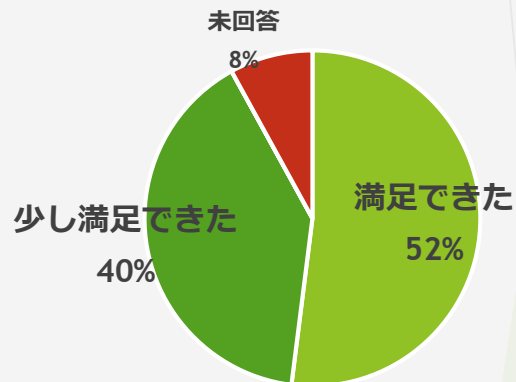
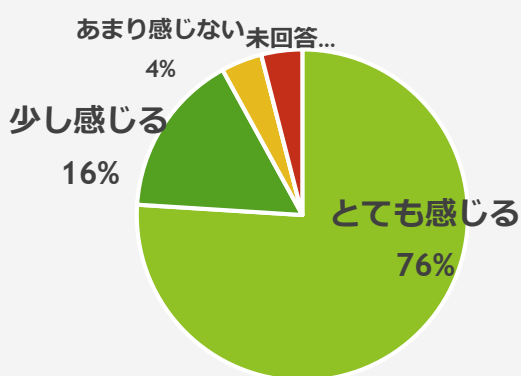
地域活性化のために、スマートIC周辺に必要な取り組みを考えました。

「道の駅」という意見が最も多く、次いでキャンプ場や温泉などの「観光・レジャー・宿泊関係」の意見が多かったです。また、「農業関係」ではクラインガルテン（貸農地）や法人による農業経営、農業従事者の育成施設といった意見も挙がっていました。



◇第2回ワークショップのアンケートを集計しました！

西郷校区におけるまちづくりの必要性を感じますか？ ワークショップの内容は満足できましたか？



※参加者（男性：18名 女性：7名）より集計しました

◆ アンケートにはこんな意見も出ました！

- ✓ 中学生が大人になっても石巻に住み続けたいと思えるような環境を作っていくのが私たちの使命と思いました。
- ✓ 中学生の意見は、自分たちの意見と重なる部分が多かったと感じた。
- ✓ 回数を重ねるごとに活発な意見が出ている。
- ✓ さらに深掘して、具体的な話も考えていきたい。
- ✓ 道の駅という意見が多いが、まずは働く場所が必要ではないか？
- ✓ 工業、企業誘致に対する意識が少ないことに驚いた。

今後の北部地域活性化委員会の予定

次回ワークショップは、「まちづくりの専門家話を聞いてみよう」と「ワークショップの成果発表会の開催」です。

専門家話を聞いた後、今まで皆さんが考えた意見をもとに「将来のまちの姿」を作成・発表していただき、一番良かった案を投票で決めて、今後のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

日時：2月15日（水）19：00～ 場所：萩平公民館

問い合わせ先

委員長 加藤正俊氏
TEL：090-3553-7852

北部地域活性化プロジェクト事務局
TEL：0532-51-2531